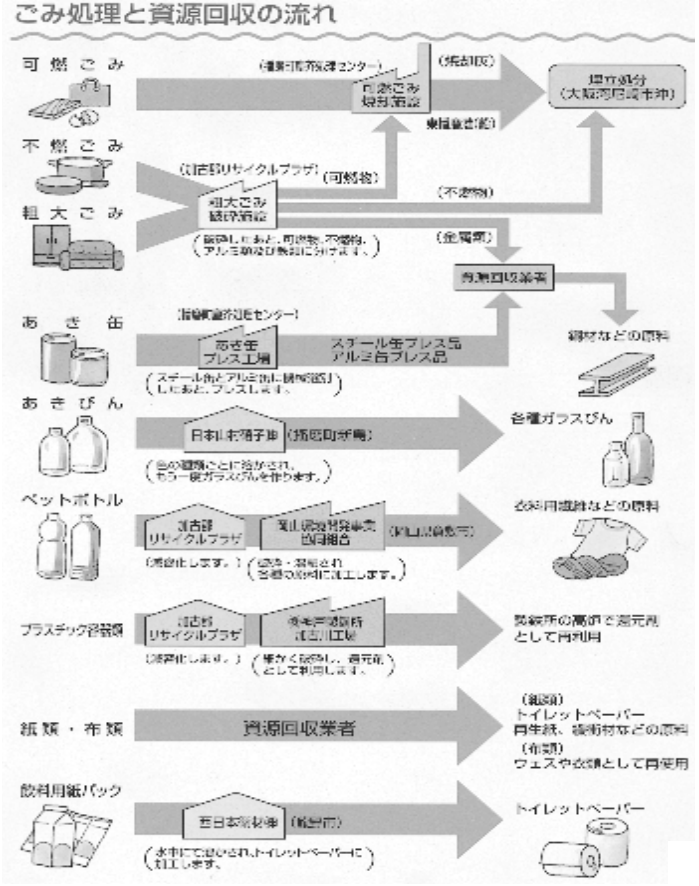


「ごみ」の現状と資源ごみの分別回収状況

播磨町から出るごみの量やその処理の流れと、昨年3月から新たに実施しているプラスチック容器類、紙類などの資源ごみ分別回収と、回収した食用廃油（希薄する自治会のみ）の回収状況をお知らせします。

ごみは住民みんなの共通問題

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会システムに暮らす私たちは、逆にごみの増加という状況の中で暮らしています。ごみの減量化や分別排出により、町では皆さんの協力を得て、問題解消に向けて取り組んでいきます。



左図のように、リサイクルを進めていますが、ごみの量は増え続けています。

「ごみは住民みんなの共通問題」と意識していただき、行政・住民が一緒になって、ごみ問題解消に向けて取り組んでいきます。

資源ごみ分別回収量は、672トン

昨年4月から今年3月末までの1年間の資源ごみ分別回収量は、672トンでした。内訳は、プラスチック容器類267トン、紙類（新聞紙・雑誌・段ボール・紙パック・紙箱・包装紙など）370トン、布類35トンでした。これは、平成十二年度に焼却した可燃ごみ1万900トンの約6%となりま

す。また、食用廃油は6千リットルを回収し、これはドラム缶30本分で燃料として再利用されます。これらを焼却せずに資源として回収し、再生利用することにより、貴重な資源の有効利用が図られるとともに、焼却に要する電気代や薬品費用を節約することができ、また焼却施設の延命にもなり、貴重な税金を有効に利用することができま

す。資源ごみの分別は、大変手間がかかり面倒ですが、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

種類	回収量
プラスチック	267トン
紙	370トン
布	35トン
廃油	6,000リットル (ドラム缶30本分)

市民環境大学 喜瀬川の水辺植物観察会開催

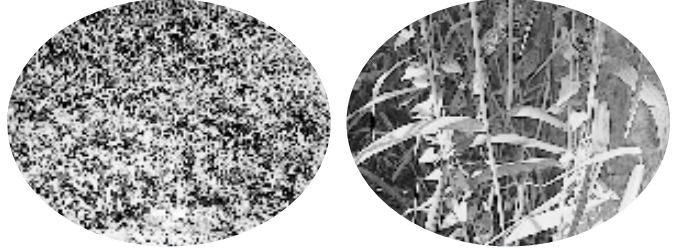
播磨町に残された貴重な自然であり、また潤いの空間である『喜瀬川』に生えている水辺植物の生態を学び、水辺空間の役割について考えます。

これまでの調査では、絶滅が心配されているサデクサやゴキツルなど貴重な植物が発見されています。参加申し込みは不要ですので、集合場所にお越しください。

- ▶日時 5月26日(日) 午前9時～11時30分
 - ▶内容 『喜瀬川』に生える水辺植物の観察
 - ▶集合場所 役場駐車場午前9時集合
 - ▶講師 播磨ウェットランドリサーチ代表 松本 修二氏
- 雨天の際は植物観察会を中止し、それにかえて中央公民館にて喜瀬川の水辺植物についてのお話をします。
- ▶問い合わせ 産業生活課 ☎0794(35)2364



水辺植物の説明を受ける参加者



兵庫県レッドデータBランク「サデクサ」 兵庫県レッドデータCランク「ゴキツル」

「ごみの減量を考える会」会員を募集

現在、ごみ排出量は増加する一方です。それに伴いごみを処理する費用も年々増加し、ごみ焼却後に残る焼却灰を埋め立てる用地も残り少なくなっています。

兵庫県では、県下のごみ排出量を減らすため、各市町が平成22年度までに、達成すべき努力目標を定めています。各市町は、平成10年度のごみ排出量に比べて

ごみ排出量を5%削減 再生利用量を24%に増加 焼却灰の埋め立て量を半分に削減

可燃ごみ焼却量を15%削減 いずれの目標も、このまま何もしないで放置すれば、目標達成は困難であるばかりか、逆に現在よりも増加することになります。そのため、この目標を達成するために、「どんな方法でごみを減らせば良いか」を考える会の会員を募集します。

参加希望者は、電話または直接、産業生活課にお申し込みください。

問い合わせ 産業生活課 ☎0794(35)2364

各自治会の取り組み

地域環境を守り、そして改善する各自治会の活発な取り組みと活動を紹介します。



全員参加による環境保全活動 学園北自治会

地区内一斉清掃を実施
当自治会では、昭和五十五年以來、月一回(第三日曜日)ただし八月のみ第一日曜日、全世代からの参加による地区内一斉清掃を実施しています。この清掃活動は、会員同志が顔を知り、話し合う機会をもつ

削減が強く言われており、自治会でも積極的に協力するために、各家庭でのさらなる分別を呼び掛け、倉庫への収納回数と売却の回数を増やすことで、資源のリサイクル・環境保全へ協力していきたいと考えています。

犬のフン公害に苦慮

次に、犬のフンですが、当地区もあちこちに啓発看板を貼っていますが、飼い主の自覚の問題で放置があとを絶ちません。看板が見えない？人が多いようなので、犬の飼い主の目線に近い低目の看板立てを作り、町の啓発看板と、手書きの看板を両面に付け付け製作し、これを特に、犬のフンの捨て逃げが多い中央部の南北道路に置き、後始末を促す様子を見ています。(賢く、かわいい犬も、飼主の非常識で周囲には、ただの迷惑犬となりかねません)



自治会員みんなでクリーンキャンペーン!

資源ごみの分別には、学校や幼稚園の集団回収日に各自で協力排出すること以外に、毎月の自治会清掃日に、各家庭の資源ごみを自治会倉庫への収納日として回収しています。清掃日以外にも倉庫開放時、また要請時は随時開けて持ち込みを可能としています。

資源ごみの分別

アルミ缶は、今年から老人クラブが中心になって回収することになり、町のあき缶回収日には、有志の方々にて選別・倉庫への収容を実施してもらっており、また回収日以外でも随時自治会倉庫へ収納しています。今までは倉庫の資源ごみ売却は、年二、三回程度で済みましたが、今後は、ごみ排出総量の

クリーンキャンペーン運動の推進 本荘中自治会



住民同士の親近感とコミュニティ作りの場でも

本荘中自治会では、南部コミセン区の十二自治会にて毎年七月と十二月の第三日曜日に実施している南部コミセン区クリーンキャンペーン運動を、地域を美しくするための大切な催しと考え、毎年、全戸参加にて積極的に参加しています。

クリーンキャンペーンにて、道路や溝に落ちていた、あきびんやあき缶、紙ごみやプラスチックごみを拾うことを通じて、住民同士の親近感とコミュニティが図れるものと考えており、今後も引き続き、南部コミセン区クリーンキャンペーン運動を地域の連帯意識の高揚を図る大切な地域活動として、積極的に参加して行きたいと考えています。